

授業科目 地域看護活動論 III

【担当教員名】 宇田 優子、島貫 秀樹		対象学年	3	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○	○	○	
【概要・一般目標：G10】 地域で生活する人々の健康を保持増進、改善するために必要な支援技術である保健指導について理解する。					
【学習目標】 1. 地域看護活動における保健指導の位置づけと目的を説明する。 2. 保健指導を実践するために必要な理論を説明する。 3. 個人や家族、集団に対する保健指導の方法を知る。 4. 住民が主体的に健康を保持増進する活動を支援する方法を知る。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	既習学習から保健指導の目的、対象、特徴を想起し、再認識する。			1、2	講義
2	すでに学習した保健指導に活用できる理論と保健指導を結びつける。			2	講義
3	健康診断、健康教育・健康学習等集団に対する保健指導の展開方法を知る。(1)			3	講義・個人ワーク
4	健康診断、健康教育・健康学習等集団に対する保健指導の展開方法を知る。(2)			3	講義・ビデオ
5	健康相談、家庭訪問等個人や家族に対する保健指導の展開方法を知る。(1)			3	講義・ビデオ・ロールプレイ
6	健康相談、家庭訪問等個人や家族に対する保健指導の展開方法を知る。(2)			3	講義・ビデオ・ロールプレイ
7	地域組織活動の支援方法を知る。(1)			4	講義
8	地域組織活動の支援方法を知る。(2) * 地域看護活動演習Ⅱと併せて実施するので、進度や学習方法を変更する場合があります			4	講義・グループワーク
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		三訂 地域看護学 国民衛生の動向	津村智恵子	中央法規 厚生統計協会	1年次に購入したものを使用する 2010・2,400円・この講義で最新 版を購入のこと
		新版 保健師業務要覧 第2版		日本看護協会出版会	2008・5,040円
参考書		健康教育論	宮坂忠夫、川田知恵子	メヂカルフレンド社	3,500円＋税
その他の資料					
【評価方法】 出席状況と授業参加態度 20% 筆記試験 80%		【履修上の留意点】 地域看護活動演習Ⅱと併せて実施する 3年後期の地域看護学実習Ⅰに直結する授業で、今まで学習してきた内容を応用する授業である。既習学習で使用した資料や学習成果を整理し、復習しておく必要がある。			